

今回のみいよく通信では、1月に開催した研修会の内容と、新年度に向けたご連絡などをお伝えします。

○「令和5年度魅力ある学校づくり地域協議会関係者研修会II」の報告

日 時：1月31日(水)13:00～15:00
場 所：宇都宮市役所本庁舎14階 大会議室
参加者数：38名(うち、地域学校協働活動推進員30名、魅力協の会長・委員7名、教員1名)
内 容：講義「新しい担い手の広げ方」
グループワーク、情報交換「活動を楽しむためのアイデア会議」
講 師：NPO とちぎユースサポーターズネットワーク 代表理事 岩井 俊宗 氏
(「ベストフェスタ in 西」実行委員長、西小学校魅力ある学校づくり地域協議会 委員)

○ 講義 「新しい担い手の広げ方」

○ はじめに

- ・ 自分の仕事は、「地域づくりコーディネーター」です。魅力協以外にも、NPO や自治会など、様々な場所で多くの人と一緒に活動しています。



岩井 俊宗 氏

○ 西地区で関わった活動



- ・ **ベストフェスタ in 西**：PTAが中心となって(魅力協も協働)、子どもたちや読み聞かせボランティアの発表などを行っています。地域の方々が、子どもたちのためになにができるかを提案したり一緒に動いて汗をかいたりするきっかけになり、保護者や地域の方々の変化を感じています。



- ・ **地域の支え合い事業**：約80世帯の自治会で「子どもたちがお手伝いする」とお知らせし、庭の手入れなど1年半で8件の依頼が来て、子どもたち延べ約50人が参加しました。

この前に、自治会長や民生委員などから声をかけても、依頼は1年半で2件ほどでした。



若い人とお話し
できるのも嬉しい

地域で議論した結果、「助けてという側」と「助けたいと動く側」をいかに固定化させないかが重要であり、地域で見守られている子どもたちが助ける側になることで、「助けて」と言いやすい環境につながるとの結論になりました。そこで、自分の子どもの頃の経験から、子どもたちが「ありがとう」の言葉とお駄賃をもらえる仕組みづくりを考えて、実施したものです。

○ 「活動」にもいろいろ

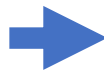
- ・ 皆様にも共有いただきたい観点は、これまで地域の先輩方が耕してきた、自治会など地域の様々な活動や地域が、疲弊しているなかで、地域はこれからどうしていくか、ということ。地域づくりの担い手として活躍する人が、子どもたちも含め、必要であるということ。
- ・ 前例のないことをやろうとするとき、誰でも、不安感がいっぱいになるのが当然です。実際、リスクや危なさのことを考えてしまったり、合議制を取ることに疲れてしまったりしています。
- ・ 今回紹介した事例の場合、学校を通すよりも先に、保護者や地域の有志が集まっています。少数で やってみて、地域の人が喜んでくれた、子どもたちが良い笑顔になってくれた実績を作ると、「もっと盛り上げよう」や、「学校と一緒にできそう」など、次につながっていきます。

○ 「ボランティア」にもいろいろ

これまで



やる気、
自発性がある



これから



関わった相手が
ハッピーになったか



何かしかけていく、
汗をかいていると
自分も皆も意欲が湧く



「やるべき」よりも
わくわく・理想・願いに
人が集まってくる



ボランティアにとって、無償や自主性が重要なのではなく、自分たちの問題意識や目的意識を持って、自分から動き出す人がいることが、これからの活動・ボランティアには必要です。

○ 学校と魅力協を取り巻く環境の変化

- ・ 学校の環境も、今は、自分から考えていく「探究型」に変わってきています。校長先生・副校長先生としては、子どもたちを地域に関わらせたい、いろんな経験をさせたい。一方で、学校側の負担も減らしたり先生方の時間も確保したりしなければならないのが、葛藤として見えます。
- ・ これまで魅力協は、「学校のために地域は何ができるか」の順番で考えてきました。探究型学習の流れを考えると、これからは、「学校・子どもたちが地域のために何ができるか」を、考えて支える形になろうかと思えます。
- ・ 子どもたちと一緒に展開していけば、大人と子ども両方の成長を促し、地域への愛着を育みます。子どもたちの力をいかにつなげていけるか、魅力協の皆様と一緒に描けたら嬉しいです。

○ グループワーク、情報交換 「活動を楽しむためのアイデア会議」

○ 「願い」・「理想」がなぜ大事なのか

- ・ 「課題」とは、当事者や関わる人たちの「願い」・「理想」と、現実とのギャップのことを言います。これが大切なのですが、難しい。
- ・ そもそも、みんな「願い」や「理想」を言葉にすることに慣れていない。
- ・ みんな、「問題(=今困っていること)」に目を向けて、掘り下げて埋めて解決しようと動きがち。

願い・理想

↓ ギャップ = 課題

現実

- ・「地域づくりコーディネーター」は、相手に心を打ち明けてもらい、何が理想や願いを邪魔しているのか、ギャップをどう埋めるのかを描き、今の現実を理想に近づける「変化」を起こします。
 - ・今回のグループワークでは、「こんなことができたらいいな」という願いや理想を、否定することなく共有しましょう。根拠なく、理想を言う練習です。なんでそう思うのかは問いません。
- ⇒ グループワークでは、たくさんの意見が出ました。その一部を紹介します。

☆やってみよう活動☆

楽しい経験をつくる

- ・花火大会
- ・校章を使ったグッズづくり
- ・イルミネーション
- ・昔話の会
- ・地域の運動会
- ・工作教室
- ・さいほう教室
- ・焼き芋大会
- ・児童の特技発表会
- ・お祭りや盆踊り
- ・各種団体と連携したフェスタの開催
- ・中学生とリサイクル活動

つながり・交流

- ・高齢者との交流
- ・学校の休み時間に一緒に遊ぶ
- ・給食を一緒に食べる
- ・地域の方は昔遊びを、小学生は今遊びをそれぞれ教え合う活動



ふせんを使ったグループワーク (R5のみりよく通信第1号でも紹介)

地域の良さを再発見

- ・地域内ウォーキングや遠足
- ・ウォークラリー
- ・初日の出を見る会
- ・地産野菜でマルシェ模擬店

地域の安心・安全

- ・防災訓練
- ・防災食の試食会
- ・防災かまどづくり

学ぶ・深める

- ・地域の達人を講師にした「○○教室」
- ・校内カルチャースクール
- ・スマホ教室

☆願い・今後必要なこと☆

- ・若者が自分のまちに愛着をもてるようになってほしい。
- ・より多くの地域の方々に活動に参加してもらいたい。
- ・中学生や卒業生に積極的に関わってもらいたい。
- ・世代関係なく話し、楽しめる活動を行いたい。#
- ・親や先生以外の大人の生き方を見せられるようにしたい。
- ・小中学校の連携を図るため、魅力協同士の意見交換の場をもちたい。



○ 研修会終了後の交流会・相談会

- ・入退場自由で、参加者同士でさらに話をする交流会と、日ごろの疑問質問を職員と座談会のように話す相談会を実施しました。
- ・相談会では、7名の方に参加いただき、事務のこと(パソコンのリース、文書廃棄 など)、ボランティアのこと(プール見守り、若い世代の集め方、推進員の複数人配置の頼み方 など)、組織や地域差のこと(会長の立ち位置、委員になる人 など)など、じっくりとお話の時間をいただきました。



○ 参加者アンケートの主な感想

○ 講義「地域の新しい担い手の広げ方」

- ・コツコツと活動されているところ、若い人との活動は、とてもすばらしいと思った。
- ・高齢化時代の考え方など勉強になりました。
- ・今まで考えていなかった考え方、見方があり、勉強になりました。自分がどこまでできるかと言われると、不安ですが…。
- ・資料と事例から、支え合いのポイントが伝わってきました。自分の地域でもできるところからやっていきたいと思いました。

○ グループワーク、情報交換「活動を楽しむためのアイデア会議」

- ・付箋に書いたそれぞれのアイデアをゆっくりとお話してきたので、とても充実したグループワークができました。
- ・他校の活動の様子が分かり、取り入れたいものもありました。
- ・抱えている問題を出し合うことができましたが、もう少し時間をもらって、さらに意見交換をしたかった。

～研修担当から～ 研修会や交流会・相談会で、たくさん皆さんのお話を聞くことができ、大変ありがたかったです。参加いただいた皆様、ありがとうございました。今後も、このような機会をつくりたいと考えています。ぜひご参加ください！

○ 新年度の事業に向けて

- ・ 2月前半の実績報告会では、多くの方に資料の作成や確認などにご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後対応が必要な書類については、別途ご連絡させていただきます。
- ・ 実績報告会で特に多かった質問・相談について、ここでご紹介します。
- ・ 委託料での購入には**日付・品名・数量・単価**の分かるものがが必要です。領収証＋納品書以外でも、**小売店のレシートもOK**です。口座振込・コンビニ支払もOKです。(支払手数料は「役務費」)
- ・ **クレジットカード・キャッシュレス決済・ポイントカードは使わない**で、現金や口座振込で支払ってください(委託料での購入でポイントを得るのはNG)。使ってしまった場合はご相談ください。
- ・ 魅力協の定例会議の水・お茶のボトルは、「**年度内かつ賞味期限内での開催予定回数×委員人数**」の本数までまとめ買いOKです。(「出欠確認して直前に購入するのは大変」とのお声から)
- ・ そのほか、委託料の留意点などについては、「事務の手引き」に詳細が載っていますが、悩むことや迷うことなどがありましたら、お気軽に生涯学習課にお問い合わせください。なお、手引きや様式の改訂については、6月までにお知らせします。

○ CSモデル事業の実施に向けて

学校運営協議会の試行的導入(コミュニティ・スクール(CS)モデル事業)については、昨年度の研修などでご説明してきたところですが、新年度からいよいよモデル校の公募などを始める予定です。新年度には、魅力協の会長を主な対象とする説明会を開催する予定ですので、ぜひご参加ください。内容や参加連絡方法などの詳細は、別途通知をご確認ください。

(予定) 第1回(市役所):4月22日(月)19:00～20:30

第2回(市役所):5月10日(金)10:00～11:30

オンライン視聴:5月中旬以降



お問い合わせ・通信のご感想やご意見など:宇都宮市教育委員会事務局

生涯学習課 電話 028-632-2679 メール u4606@city.utsunomiya.tochigi.jp

学校教育課 電話 028-632-2728 メール u4602@city.utsunomiya.tochigi.jp